

**表郷幼稚園落成記念式典
新園舎に園児の笑顔があふれる**

8月26日、表郷幼稚園の新園舎が完成し、落成記念式典が行われました。昭和41年に表郷番沢に建てられた旧園舎は、老朽化が進み、敷地も狭かったことから、表郷金山に場所を移し新園舎を建設しました。新園舎は、木造平屋建て、敷地面積は8,938㎡、延べ床面積は約1,345㎡で、保育室のほか預かり保育室、遊戯室が備えられています。式では、年長組の園児約50人が感謝の言葉と歌を披露した後、くす玉を割り笑顔で完成を祝いました。



▲くす玉が開き歓声を上げる園児たち

**包括連携協定締結式
地域活性化と市民サービスの向上に向けて**

9月2日、本市は地域の活性化や東日本大震災からの復興などを目的に、(株)東邦銀行と包括連携協定を締結しました。締結式では、鈴木市長が「地域の振興と安定に大きな役割を持つ金融機関と協力する意義は大きく、今後は、産業の振興と地域の活性化をともに図りたい」、北村清士取締役頭取が、「地元の金融機関として、地域の発展、復興のお手伝いをしたい」と話し、協定書に調印しました。



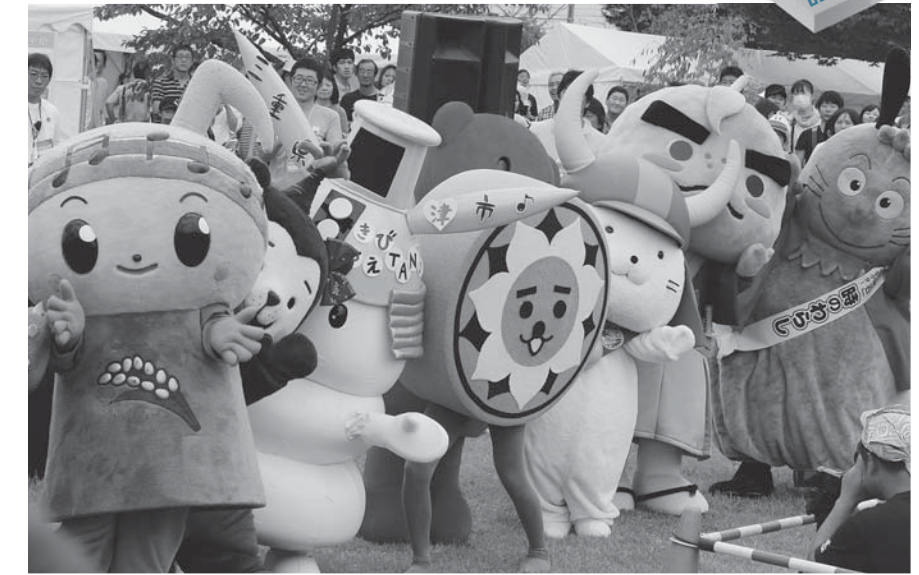
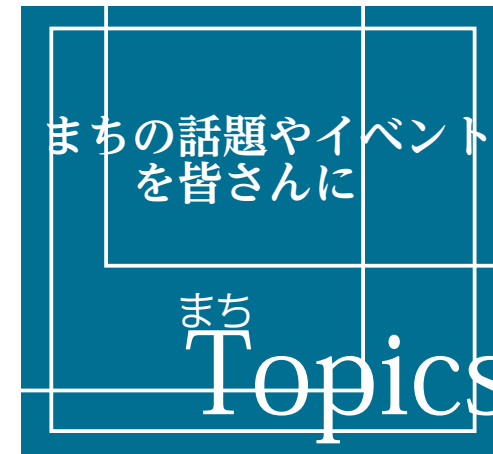
▲協定を結び握手する北村頭取（右）と鈴木市長

**白河の歴史 再発見！事業
土器に触れ、古代の歴史を学ぶ**

9月12日、「白河の歴史 再発見！事業」の一環で、東中の1年生76人が、鈴木功文化財課主幹を講師に白河の古代の歴史について学習しました。授業では、学校の近くにある荒内古墳の説明を受けたほか、市内で出土した本物の土器に直接触れながら歴史を学びました。生徒たちは、「自分の住んでいる地域に遺跡があることが分かり誇りに思った」、「本物の土器を見ることができて良かった。本物は重く、手触りがゴツゴツしていた」など感想を話していました。



▲熱心に説明を聞く生徒たち



▲パレード後の記念撮影

**ご当地キャラこども夢フェスタin白河
大盛況の2日間！ 10万5千人が来場**

9月21日・22日、城山公園（郭内）を中心に「ご当地キャラこども夢フェスタin白河」が開催されました。当日は、キビタンステージ（城山公園）、八重たんステージ（同公園駐車場）、こどもの夢ステージ（JR白河駅前イベント広場）、らくらステージ（楽蔵）の4つの会場が設けられ、全国から集まったご当地キャラクターやご当地ヒーロー、129体が次々に登場し、来場者を楽しませていました。城山公園では、メロン熊（北海道夕張市）、ひこにゃん（滋賀県彦根市）、キビタンや本市の新キャラクター「しらかわん」など、約90体による大パレードが行われ、会場は歓声と熱気に包まれました。22日には、くまモン（熊本県）が登場し、鈴木市長からくまモンのだるまが贈られると、会場はさらに盛り上がりました。



▲だるまに喜ぶくまモン

**丸和精光(株)が本市に進出
進出により復興の役に立ちたい**

9月4日、本市の新白河ビジネスパークへ進出が決定した丸和精光(株)（東京都稲城市、伊原勇代表取締役）と土地売買契約が締結されました。医療機器などの精密部品を加工する同社の進出に対し、鈴木市長は、「得意とする微細加工の技術を若者に伝承する拠点として本市を選んでいただき感謝するとともに、市を挙げて歓迎します」と話しました。平成26年4月の操業開始を目指して当初6人を雇用し、将来的には20人程度まで拡大する予定です。



▲左から小松信之郎企業局長、伊原代表取締役、鈴木市長